

**TOGETHER,
THE
POSSIBILITIES
ARE
ENDLESS.**

力を合わせれば 可能性は無限です

**THE
END
OF
IMPOSSIBLE**

不可能の終焉



Room to Read®

WORLD CHANGE STARTS WITH EDUCATED CHILDREN.®
子どもの教育が世界を変える。

© 2019 Room to Read. All rights reserved.

ルーム・トゥ・リード グローバルオフィス: サンフランシスコ
香港・ロンドン・ムンバイ・ニューヨーク・シンガポール・シドニー・東京・チューリッヒ

www.roomtoread.org
japan.roomtoread.org



Room to Read® | 2018 アニュアルレポート

EVERYTHING IS POSSIBLE.

あらゆることが可能です

教育の力によって、すべての子どもは熱心で思いやりのある社会の一員へと成長する機会を得ることができます。ルーム・トゥ・リードは2018年末までに1,680万人を超える子ども達を支援し、彼らの将来に新たな可能性をもたらしました。



Room to Read® | 2018 アニュアルレポート



低所得国の子どもの4人にひとりには文字が読めません。さらに、全世界の国の半数しか、中学校の男女平等を実現しておらず、高校ではその割合は4分の1まで低下します。これらは信じがたい数値ですが、解決できないことはありません。教育を通して、非識字や男女格差といった問題を過去のものにできるのです。

WELCOME TO THE END OF IMPOSSIBLE.

ようこそ 不可能を終わらせる世界へ





ルーム・トゥ・リード 2018 アニュアルレポート

4 CEOと理事長からの手紙

6 不可能といわれたブレイクスルー
私達をもたらす効果

12 不可能といわれた飛翔
識字教育

20 不可能といわれた旅
女子教育

28 不可能といわれた登頂

32 グローバルな取り組み

36 財務報告

38 企業・団体スポンサー

40 理事会およびリーダーシップ

ルーム・トゥ・リードの支援者の皆様へ

私はルーム・トゥ・リードのCEOとして、教育がいかに子ども達を変えるかを何度も目の当たりにしています。ベトナムの小学4年生のキエンは、趣味の読書で毎年100冊の本を読破し、学校で「リーディングスターアワード」を受賞し、教師になりたいという夢をさらに膨らませています。また、女子教育プログラムで学校に通っていたハワは、今では公共政策立案の分野でキャリアを積んでいます。このような話を聞くと、教育は世界一強力な、変化の手段であるという私の長年の信念がさらに確固としたものになります。

しかし、世界では今なお7億5,000万の人々が読み書きができません。また、社会的圧力により、女子学生中等学校への進学率は著しく低水準となっています。ルーム・トゥ・リードは非識字や男女格差は教育によって解決できる課題であると知っており、そのとおりに実践しています。私達は2019年末までに世界の1,800万人の子ども達を支援し、生涯にわたる成功への道を切り開く学びへの道をサポートする予定です。

本誌に登場する未来志向の先人達からインスピレーションを受け、ルーム・トゥ・リードは非識字や男女格差の消滅という見「不可能」な課題に意欲的に取り組んでいます。私達はすでに、政府やその他の非営利団体とのパートナーシップを通した前例のない方法で活動の幅を広げています。システムレベルの変化を示す最も素晴らしい事例の1つは、イケア財団、インドのチャッティースガル州、ラージャスターン州とのパートナーシップに基づき、私達的女子教育プログラムが支援する少女の数が、単年で47%増加したというものです。このユニークな官民連携を通し、何千人もの少女が、自信を持って性にまつわる複雑な障害にも対処できるようライフスキルを学んでいます。

早婚の圧力を受けた母を持つインド系アメリカ人女性として、私は新たな道を築こうとする少女達が直面する抗いがたい困難を敏感に感じ取ります。家のしきたりに逆らい、教育を追求したいという母の意志は母自身の人生を変えました。さらに意義深いことに、母だけではなく、4人の姉妹、娘、孫娘、子孫すべての人生を変えたのです。

男女平等を推進する新たな人生を選んだのは、私の家族の女性達だけではありません。これまでの人生で出会った数多くの恩師やロールモデルとなる男性・女性のおかげで、私は現在の成功を手にすることができたのです。男女平等の世界の実現にはあらゆる人々を巻き込む必要があることは、私の経験から明らかであり、この考えを理解する機運は高まりつつあります。そのため、2020年～2024年の戦略プランをまとめるに当たり、ルーム・トゥ・リードは男女平等を実現するための取り組みに少年や成人男性をより積極的に参加させていきます。



団結することによってのみ、子どもの将来が性別や出生地によって決して左右されないようにできます。ルーム・トゥ・リードの素晴らしい支援者の皆さまは単に教育に投資しているわけではありません。私達すべてのより良い未来に投資しています。今日の若者は明日の親、師、地域社会のリーダーなのです。

将来を見据え、ルーム・トゥ・リードはかつてないほど速いペースで識字教育や男女平等の促進を続けることにより、人が持つ可能性への投資を強化しています。皆様の揺るぎない寛大さとコミットメントのおかげで、私達はその態勢を十分整えることができており、世界中の何百万人もの子ども達が持つ無限の可能性への扉を開いてまいります。



ギータ・ムラリ博士、CEO

親愛なる皆様へ

ルーム・トゥ・リードの胸躍る新たなチャプターの幕開けです。昨年、新CEO就任、リージョナルボードのネットワーク拡大、シニアマネジメントの再編・強化を経て、現在は意欲的な新戦略プランをまとめています。

私達のミッションの勢いをそぐことなく、上記の困難かつやりがいのある取り組みを成し遂げられたのは、リーダーシップチームの手腕や、グローバル組織の貢献があつてこそです。実際に昨年は、寄付による収入が過去最高となったほか、最も重要なことに、私達がプログラムを通して支援の手を差し伸べた子どもの数が著しく増加し、今や1,800万人に迫っています。慈善団体の独立系評価機関であるチャリティ・ナビゲーターによる評価も、誰もがうらやむ4つ星を再び獲得し、私達が引き続き成長と効率性を両立していることを証明しました。

ムラリ氏が前のページで自身の考えを述べていますが、理事長という光栄な立場にある私の視点からすれば、彼女はCEOという新たな任務に、エネルギー、イノベーション、そして、協力の精神をもたらしたと言えます。ルーム・トゥ・リードの創設者達が築いた強固な基盤の上で、彼女は最初から全力で任務に取り組み、私達は過去を振り返ることはありません。

それどころか、私達には心待ちにしていることが数多くあります。一連の取り組みは私達に効率的かつ効果的に活動を拡大する手段をもたらしてくれるでしょう。それがルーム・トゥ・リード流なのです。昨年、色あせない記憶の1つに理事会のベトナム視察があり、私達はそこで、現地政府が学校にルーム・トゥ・リードのシステムや識字教育アプローチを取り入れている様子を目の当たりにしました。これは、私達のミッションを次のレベルに引き上げ、より多くの子ども達を支援するため、私達がどのようにイノベーションを起こし、パートナーシップを用いているかを示すほんの一例です。

ルーム・トゥ・リードの組織やアプローチに浸透している規律、評価、尺度から逸脱することなく、活動の幅を広げるプランは他にも数多くあります。それらすべてが新たな戦略プランの大胆な目標達成を後押しします。過去20年間の実績の2倍近い4,000万人の子ども達に、2025年までに支援の手を差し伸べるという目標です。これまでの実績や、比類なき現地チーム、拡大するリージョナルボード（今やインド、カリフォルニアにも）のグローバルな展開を踏まえれば、私達はこの目標を達成できるという自信を持てるはずです。

私達は他の方法でも私達をもたらす効果を拡大・深化させていきます。女子教育は変化をもたらす非常に強力な手段ですが、それだけを追求しても実現できないことが、私達の経験や関連調査からますます明らかになっています。少年（や成人男性）が女子教育の重



要性をより理解するようになれば、私達の活動にも勢いがつくでしょう。私達はそのため、男女平等の撤廃活動の幅を広げて少年を参加させるプランを策定中です。

肯定的な変化が数多く起こっていますが、絶対不可欠で変わらないものもいくつかあります。質の高い教育を提供する、持続可能な成果を挙げる、規律や厳格さをもって活動することへの私達のコミットメントがそうです。とりわけ、私達の基本理念は依然として強固かつ関連性を持つものとしてあり続けています。「子どもの教育が世界を変える」という基本理念です。私達は他のほとんどの非政府組織とは違い、グローバルな課題や危機の事象にのみ目を向けるのではなく、その原因にも対処しています。そして、他の多くの組織の立派なキャンペーンとは違い、私達は達成可能なミッションを掲げています。非識字や男女格差は終わらせることができるのです。それが私達の最終目標であり、スポンサーの皆様、パートナー、私達の熱心なチームのおかげで現実的な大志となっています。



ジョン・リディング、理事長



不可能といわれた ブレイクスルー

ネルソン・マンデラが若かりし頃、黒人の大統領が選出されるとは誰にも想像すらできませんでした。とりわけ、アパルトヘイト体制下の南アフリカでは。彼は公正な社会を作るため、生涯をかけて粘り強く勇敢に戦いました。マンデラは77歳で南アフリカ大統領に選出され、同国を人種差別撤廃に導きました。

教育における ブレイクスルー

私達の持つ強固な意志や専門知識により、世界中の低所得地域に住む子ども達への質の高い教育の提供に向け、大きく前進してきました。非識字や男女格差の課題は歴史的に見ても、解決不可能と考えられてきました。しかし、皆様の支援のおかげで、ルーム・トゥ・リードは全ての子ども達のために、質の高い教育への障壁を取り除いています。私達にはソリューションがあり、活動を通し、何百万人もの子ども達の人生を変えています。





私達がもたらす効果

グローバル実績

恩恵を受けた子どもの累計数* 1,680 万人以上	国数 16カ国	地域数 38,000以上
--	-------------------	------------------------

女子教育

2018年に新たに恩恵を受けた少女数 25,300人以上 恩恵を受けた少女の累計数 81,800人以上	2018年にプログラムに参加した有効少女数 59,400人以上	2018年に新たに中等学校を修了した少女数 2,100人以上 中等学校を修了した少女の累計数 6,900人以上
--	---	--

*ルーム・トゥ・リードの識字教育と女子教育事業の恩恵を受けた子どもの累計数であり、ルーム・トゥ・リードの過去のプログラムも含まれます。

識字教育

2018年に新たに恩恵を受けた子どもの数 270 万人以上 恩恵を受けた子どもの累計数 1,580 万人以上	2018年に新たに研修を受けた教師と司書の数 15,000人以上 研修を受けた教師と司書の累計数 13万人以上	2018年に新たにパートナーとなった学校数 7,800校以上 パートナーとなった学校の累計数 38,000校以上 2018年の有効パートナー校数 19,500校以上
2018年に出版した*児童書のタイトル数 360冊		出版した児童書のタイトル累計数 1,576冊

*新刊と脚色含まれます。

不可能といわれた 飛翔

人類の歴史のほとんどの間、人を月に送ることは成し遂げられない夢とされていました。その後、1969年に、ニール・アームストロングとバズ・オルドリンが月面に着陸しました。この1つの偉業により、人類は高い目標を掲げて熱心に取り組めば、あらゆることが可能であると認識したのです。

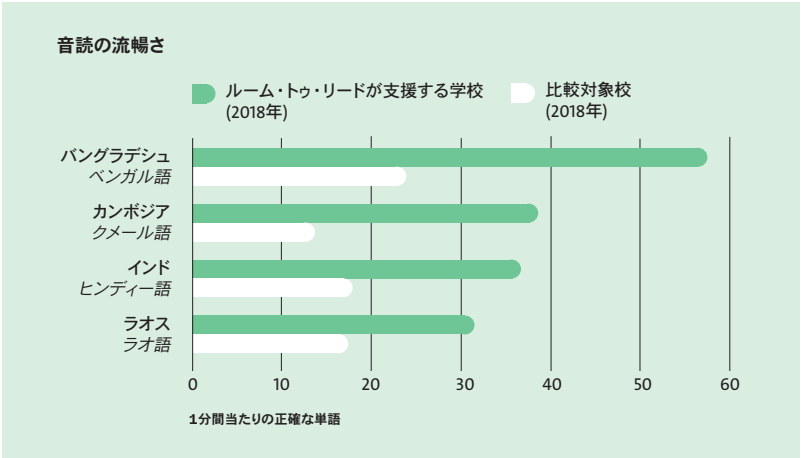
明るい未来への 飛翔

私達が携わっている地域社会では、識字力を身につけるのに必要なリソースが不足しているため、多くの場合子ども達は在学中の間ずっと苦労し続けるか、退学してしまいます。多くの生徒の両親は読み書きができませんが、私達の取り組みにより、そうした非識字の連鎖を1世代で断ち切ることが可能です。教師への研修、児童書制作、学校図書室の設置を組み合わせることで、ルーム・トゥ・リードは学校を質の高い学習環境に変え、子ども達が一生ひとりで本を読む読書家になれるようにします。



識字教育

プログラム参加者の傑出した評価結果



ルーム・トゥ・リードは2018年に、私達のプログラムに2年間参加した**バングラデシュ、カンボジア、インド、ラオス**の小学2年生の読解力を評価しました（参加国を2つのグループに分けて隔年評価しています）。研究によれば、読むのが遅すぎる子どもは自分が読んでいる内容を記憶にとどめて理解することができないため、音読の流暢さは極めて重要です。私達の評価結果からは、ルーム・トゥ・リードが支援している学校に通う子ども達の音読の流暢さを示すレートが、比較対象校の子ども達の約2〜3倍の高さであることが証明されました。



活動の幅を広げる

持続可能で前向きな変化をもたらすため、現地政府はルーム・トゥ・リードのモデルを地方や国レベルで導入するメリットがあることを認識する必要があります。私達は、プログラムを実施している多くの国の政府機関とパートナーシップを結び、識字教育の活動の幅を広げていけることをとても喜ばしく思っています。

インドでは、米国国際開発庁（USAID）やインド政府とともに、4つの州で識字教育プログラムを拡大する5カ年プロジェクトに携わっています。チャッティースガル州、マディヤ・プラデーシュ州、ウッタル・プラデーシュ州、ウッタラーカンド州の4つです。このプロジェクトは、各州が将来的に単独で識字教育に介入することができる能力を養っています。2015年のプロジェクト開始以来、2,012校の26万1,000人

を超える子ども達と5,200人の教師を支援してきました。

ベトナムでは2018年に、ベトナム教育訓練省（MOET）とともに、全国規模で図書室を拡大するほか、私達の図書室モデルを国の政策に取り入れるイニシアチブを開始しました。革新的な3層構造の“*I do, We do, You do*”アプローチにより、デモ図書室（ルーム・トゥ・リード主導）、協力図書室（ルーム・トゥ・リードとMOETの協働）、拡大図書室（MOET主導）を時間をかけて何千か所にも設置してまいります。ベトナム政府はこのプロジェクトにより、全国のニーズが高い地域に自力で図書室を設置することができるようになるでしょう。



サラスウォティ

識字教育プログラム生、サミトの母親（ネパール）

「ルーム・トゥ・リードが息子の学校に提供してくれた児童書を初めて目にした時、私は本当に嬉しくなりました。今はこれ以上できないくらい感謝しています。児童書は低学年の生徒にぴったり合うように制作されており、文字や挿し絵の量も最適です。息子は今では学習スピードが速くなり、読書する習慣も身につけつつあります。児童書は息子が知識や想像力をつけるのに役立っています。」



図書出版のリーダー

毎年、ルーム・トゥ・リードは現地語の児童書を出版しているほか、現地の作家やイラストレーターにトレーニング機会を提供し、能力の育成に努めています。

ネパールでは、私達の本Wow! A Ribbon（上記）が栄えあるネパール児童文学学会のベストイラスト賞を受賞しました。私達はまた、国際総合山岳開発センター（ICIMOD）と協力し、現地の作家とイラストレーターが文章と挿し絵を手掛けた、*Dhuwako Sansar*と*Chanchaleko Yatra*という2タイトルの新刊を出版しました。両タイトルとも、カトマンズ周辺や南アジアのその他の都市で深刻な懸念となっている大気汚染に焦点を当てています。なお、私達はこれまでにネパール語の児童書を321タイトル出版しています。

バングラデシュでは、ルーム・トゥ・リードの出版した児童書を原作として、“Rong Beronger Golpo”というアニメーション番組が制作され、バングラデシュ有数の子ども向けチャネルの1つであるデュロントで放送されています。このシリーズ番組はバングラデシュでトップの人気を誇るテレビ番組の1つであり、何千人もの子ども達が童話を好きになるきっかけとなっています。

スリランカでは、ルーム・トゥ・リードの出版スタッフが養成した5人の現地作家が、スリランカの公立学校で使う本を審査する政府チームのメンバーに選ばれました。ルーム・トゥ・リードが養成したプロの作家がこのチームにいることによって、国家レベルでスリランカの児童書の質に、影響を及ぼし続けることができます。

デヘミ

識字教育プログラム生（スリランカ）

「私は毎週金曜日にルーム・トゥ・リードの図書室から本を借ります。色々なことを想像できるので本を読むのが大好きです。今では家に本棚があり、本に囲まれてとても幸せです。大きな声を出して読んで、両親や近所の人たちに聞いてもらうのも楽しいです。私が皆に教えているんですよ。」



専門知識の共有

ルーム・トゥ・リードでは、識字と男女平等の質の高いイニシアチブを世界中で実施するため、技術支援プロジェクトを通して他の組織とパートナーになったり、彼らに研修を行ったりしています。

例えば**ルワンダ**では、USAIDが資金提供する、100万人の子ども達の読書指導を改善する複数年プロジェクトに携わっています。ルーム・トゥ・リードはこのプロジェクトを通し、学校が低学年の生徒に対して行う読書指導時間の量と質について、国が理解を深めるための調査を率いました。そして、読書指導時間を詳細に分析できる、授業をモニタリングする革新的な機器を開発しました。この調査結果からは、教師や生徒が席を外したり、遅刻したりしたせいで、予定していた指導時間のうち29%が失われていたことがわかりました。さらに、予定していた指導時間の19%も学習活動以外のことに使われていたため、結局残りの52%しか実際の学習活動に使われていませんでした。この調査結果からはまた、指導方法が重要であることもわかりました。具体的には、音節から単語を作る、新たに学んだ語彙を作文を通して練習するなどの「アクティブ」な学習活動に教師が割く時間が多ければ、生徒はより学習しやすくなります。これらの調査結果は、ルワンダ政府が低学年の子ども達の読解力を高める全国的な取り組みを行うために、役立てられることでしょう。

ルーム・トゥ・リードは低学年向けの質の高い児童書を制作しています。それらには、子ども達が学んだ発音や文字を使った単語を、学習段階に合わせて盛り込んだ音韻を学べる図書教材や図書が含まれます。子ども達はこのアプローチのおかげで、児童書のなかに登場する単語を発音し、自分の識字スキルに自信を持つことができるのです。私達は**ルワンダ**で、合計25人の作家、イラストレーター、企画者、政府職員を集めてワークショップを行いました。参加者は複数のグループに分かれて作業し、小学校1年生向けの音韻が学べる物語を24編制作しました。全ページ挿絵付きの、識字スキルを高める一助となるこれらの物語は、12冊の本にまとめられ出版し、子ども達が自宅に持ち帰って読めるようになる予定です。加えて**ラオス**では、オーストラリアン・エイドと欧州連合（EU主催のラオス基礎教育の質改善プロジェクト（BEQUAL）と協力し、音韻を学べる図書教材36冊と教師向けの手引書1冊を制作しました。これらの図書教材と手引書はどちらも、ラオスの小学1～2年生の全教室に配布される予定です。

2018年には、USAIDが資金を提供する、**ホンジュラス**の“Avanzando con Libros（ACL）”プロジェクトを通し、中南米で最初のルーム・トゥ・リードの取り組みを開始しました。このプロジェクトではホンジュラス教育省とともに、出版者、作家、イラストレーターを集め、公立学校システム全体を通してより多くの子ども達の手に書籍が渡るように取り組んでいます。



不可能といわれた旅

女性が多くの方で平等を求めて戦っていた時代にあつて、女性飛行家のアメリア・イアハートは勇敢なパイオニアでした。イアハートは1932年に、大西洋を単独かつノンストップで横断飛行した、初めての女性となつたのです。彼女の成功はそれ以来、世界中の女性や少女が大きな夢を持ち、何でもできると信じるきっかけとなりました。



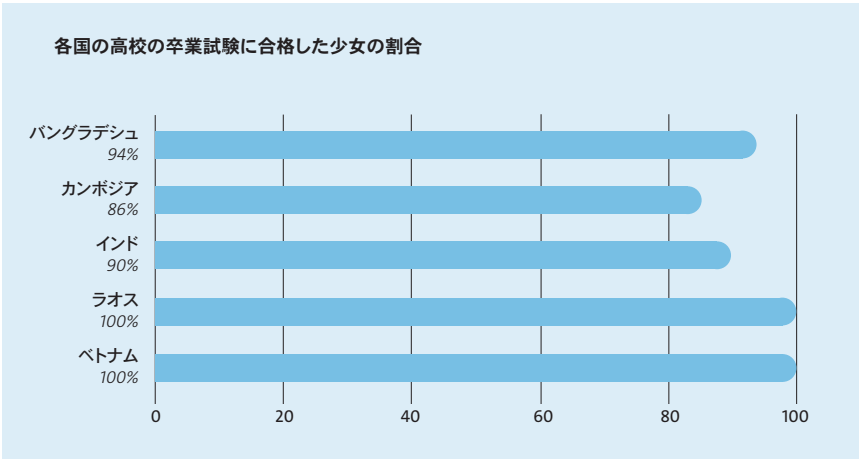
成功への旅

少女達は教育を受けるにあたって数多くの障害に直面するため、退学する割合が男子生徒より高くなっています。ルーム・トゥ・リードは、この現実と向き合い、活動を行っています。特に、中等学校に通う年齢の少女達は、文化的偏見、性差別、経済的圧力、安全への懸念に直面しており、そのために学業を修了できなくなっています。私たちは女子教育プログラムを通して、中等学校の少女達に対し、女性メンターのほか、学業や社会に出てからの成功に欠かせないライフスキルを提供しています。こうした支援により、プログラムの参加者は、自分の将来に関わる意思決定を行えるようになり、自分の夢を追い求める心構えを備えるようになります。



女子教育

プログラム参加者の傑出した実績



バングラデシュ、カンボジア、インド、ラオス、ベトナムでは、私達的女子教育プログラムの生徒達が、著しく高い割合で高校の卒業試験に合格しました。これらの国のプログラム参加者の合格率は、全国平均を19%も上回ったのです。彼女達の将来には、より多くのチャンスが待っています。



世界中で女子教育を促進する

学校教育に関して言えば、私達が携わっている国の多くで少女達は見過ごされています。ルーム・トゥ・リードは、女子教育の重要性を国際的に主張する積極的な役割を果たしています。

バングラデシュでは、年に1度の国際ガールズデーを祝う期間中に、全国女性子ども支援活動フォーラムと協力関係を築き、それによって国レベルで私達のメッセージを広める機会を得ました。同じ協力関係を通して女性子ども省主催のイベントに参加し、国際女性デーも祝いました。

また、インドでは、女子教育や男女平等のイニシアチブが国の教育予算に含まれるべきだと主張し、デリーで全国フォーラムを開催しました。「公教育における女子教育の予算化:ジェンダーを見つめて」というタイトルのこのフォーラムにおいて、全国の少女を対象にした教育プログラムを提言しました。



レイチェル

ソーシャルモビライザー（タンザニア）

「ルーム・トゥ・リードのスタッフであることは、私にとっての誇りであり、幸せです。そのおかげで、少女達が日常生活で直面している課題を踏まえ、彼女達を助け、サポートし、励まし、コーチングする機会を得ました。」

少女達にライフスキルを教える

私達が携わっている地域の少女達には、学校生活や卒業後の人生で成功するために必要となるライフスキルを学ぶ機会は、ほぼありません。特に、低所得地域の少女達が直面する大きな障害を踏まえれば、これらのスキルは極めて重要です。

そのため、ルーム・トゥ・リードは**インド**で、チャッティースガル州とラージャスターン州全域の思春期の少女達に自信を持たせることを目標とした、3カ年プロジェクトを開始しました。女子教育に重点を置いた技術支援プロジェクトは、私達にとって初めての試みです。このプロジェクトを通し、ライフスキル教育のカリキュラムを実施しているほか、公立学校の教師に向けて、他の教師の指導ができるよう研修を行っています。このプロジェクトでは、中等学校に通う年齢の68,000人以上の少女の支援を目指しています。彼女達に物事を批

判的に考えるよう教えているほか、日々の課題に対処するための準備をさせています。

また、**ラオス**では、公立の中等学校において女子教育プログラムを展開するだけでなく、ライフスキル教育のカリキュラムを技術職業訓練教育（TVET）機関に導入することにより、女子教育プログラムのもうひとつアプローチを試しています。これらTVET機関の少女達は、多くの場合、極めて貧しい経済状態の家庭出身であるため、ライフスキル教育から大いに恩恵を受けることができます。教師もこのプロジェクトを通し、ルーム・トゥ・リードのスタッフからサポートやコーチングを受けながら、中身の濃いライフスキル教育カリキュラムの実施方法を学んでいます。



ソニー

女子教育プログラム卒業生（カンボジア）

「ルーム・トゥ・リードのプログラムに参加していなかったら、良い学校で学んだり、大学に進学する機会を得られなかったと思います。現在の私のように強くて勇敢な女性になっていなかったでしょう。過去の私のように、またはそれ以上に厳しい環境にいる少女達が粘り強く努力し、障害を乗り越え、目標を達成できることを願っています。できるなら、『教育はあなた達がより良い人生を送る真の力になるから、学ぶのをやめないで』と伝えたいです。」



私達のモデルがもたらす効果を調査する

私達は昨年、女子教育プログラムの事業を強化するための調査をいくつか実施しました。

そのなかで、**バングラデシュ、カンボジア、インド、ネパール、スリランカ、タンザニア、ベトナム**の7カ国の少女達を、ライフスキルの評価ツールを使って評価しました。プログラム参加者のライフスキルが時とともにどのように向上するかに関し、理解を深めることが目的でした。来年にかけては、**カンボジア**の少人数の少年を対象としたパイロットテストのなかでも、このツールを使う予定です。これは、男女平等に取り組むルーム・トゥ・リードが少年達も対象にしていく可能性を正式に探っていく、初めての機会です。

また、私達は**インド**で女子教育プログラム修了者の詳しい調査も実施しました。その調査からは、ルーム・トゥ・リードが長期間にわたり、少女達の教育、就業機会、人間関係、クオリティ・オブ・ライフに肯定的な効果をもたらしていることがわかりました。具体的には、彼女達が教育プログラムのおかげで結婚を先送りし、高い割合で高等教育を受け、仕事を続けているほか、自分の目標、人間関係、将来に向けて健全なアプローチをとっていることが明らかになったのです。



不可能といわれた 登頂

1953年にエドモンド・ヒラリーとテンジン・ノルゲイが登り切るまで、世界最高峰であり、最も危険なエベレストに登頂するのは不可能と考えられていました。ニュージーランド出身のヒラリーとネパール出身のノルゲイは、他の登山家の多くの失敗を重ねた後に、標高8,848メートルの山頂に到達しました。ヒラリーもノルゲイも、単独では成しえなかったであろう偉業を、ふたりで達成することができたのです。



新たな高みへの登頂

ルーム・トゥ・リードの成功の大きな鍵の一つが、支援者の皆様の強力なネットワークです。2018年には、世界中のコミュニティの皆様が、私達のミッションを支援するため、広く呼びかけ、資金集めをしてくださいました。世界中の子ども達が持つ可能性を解き放つため、私達のパートナーになっていただき、誠にありがとうございます。私達の辞書には「不可能」という言葉は存在させないという決意を共にし、そして証明してきました。



グローバルな取り組み



ハイライトと著名人の参加

1. ルーム・トゥ・リードはセーリングチームの**メイデン・ファクター**とパートナーになりました。メイデン・ファクターは1990年に、初めて全員女性のクルーでチームのヨットであるメイデンに乗り、ホイトブレッド世界一周レースを完走するという偉業を成し遂げました。メイデンはルーム・トゥ・リードを含めた6つのチャリティパートナーをサポートし、世界中の少女を力づけ、教育するというミッションのため、この航海に乗り出しました。2018年の出航イベントには、ルーム・トゥ・リードからCEOのギータ・ムラリ、理事長のジョン・リディング、スリランカの子教育プログラム卒業生のティルマガルが出席し、3年間の世界ツアーに出航するメイデ

ンを見送りました。彼らはイベントに出席していた**英国のチャールズ皇太子とカミラ夫人**にもお会いしました。

2. **オリンピック銅メダリスト、作家、水泳コーチ、モチベーションスピーカーのキム・ヴァンデンバーグ**が2018年に、ルーム・トゥ・リードのアンバサダーに就任しました。彼女は私達の子教育プログラムを通し、50人の少女を支援するという個人的な誓いを立てているほか、スリランカのプログラム参加者を訪問し、私達がもたらす効果をじかに目にしました。

3. **ビル&メリンダ・ゲイツ財団**がルーム・トゥ・リードを2018年のゴールキーパーアクセ

ラレータに指名しました。これは、私達が識字教育プログラムを通し、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた進展を促す能力があると、ゲイツ財団が認めたものです。私達はこのゴールキーパーイニシアチブを通し、インド、南アフリカ、ベトナムの事業を拡大するため、**クレディ・スイス、ドバイケア、フォー・エイカー・トラスト**とパートナーになりました。彼らが約束している350万ドルを超える支援は、これらの国で今後3年間にさらに110万人の子どもに手を差し伸べるという私達の目標達成を後押しするでしょう。

4. **ユーチューブで人気を博し、まもなくNBCの番組“A Little Late with Lilly Singh”で司**

会を務めるリリー・シンが、2018年にさまざまな形でルーム・トゥ・リードを支持してくれました。7月に南アフリカで識字教育に焦点を当てたイベントの司会を務めたほか、私達が10月に開いた国際ガールズデーを祝うサンフランシスコ・ベネフィットでも講演しました。

5 & 6. **ルーム・トゥ・リード創設者のジョン・ウッドと理事長のジョン・リディング** (5) が、私達が香港、シドニー、ロンドンで年に1度行う**ファステスト・エグゼクティブ・レース** (6) に参加した200人を超える企業幹部に加わり、ルーム・トゥ・リードのために80万ドル以上の募金を集めました。

メディアにみるルーム・トゥ・リード





7. 生きていれば7月には100歳を迎えたであろうネルソン・マンデラの誕生日を祝い、南アフリカの教育への彼の深い関与に敬意を表すべく、ルーム・トゥ・リードは**ニューヨーク証券取引所の取引開始のベルを鳴らす**ために招かれました。私達のパートナーである**IMC**もこの光栄なイベントに参加しました。

8. **ミス・ユニバース・ベトナムのフエン・ニエ**がルーム・トゥ・リードのアンバサダーに就任し、ベトナムの識字教育プログラムと女子教育プログラムの両方に個人的に募金しています。彼女は2018年にラムドン省のルーム・トゥ・リードのパートナー校を訪問し、私達が実際に行っている活動を見学しました。

9. インドの**ナレンドラ・モディ首相**が9月の68歳の誕生日に、ウッタル・プラデーシュ州のルーム・トゥ・リードのパートナー校を訪問しました。その際、図書室で子ども達と時間をともにし、子ども達は自分の好きな物語を首相に読んで聞かせました。



資金提供者への注目



レガシーソサエティ（遺贈寄付者会）

ジョディ・モリス

2007年以来のルーム・トゥ・リードへの資金提供者

「私は誰もがグローバル市民であると考えています。恵まれている人々には求められることも多いと思います。誰もが世界とつながってほしいと思います。取り組みたい問題を見つけ、自分だけが持つ能力や金融資産を活用し最も自分らしい方法で、その問題を解決に導いてください。私にとってはそれが新興国における女子教育とリーダーシップでした。ルーム・トゥ・リードの戦略的かつ協力的、そして透明性の高いアプローチは、私があらゆる企業に求める基準を反映しています。このメッセージとルーム・トゥ・リードの取り組みは、私が亡くなった後も長く受け継がれなければなりません。」



毎月の寄付

クリスティ・マリ奥斯

2003年以来のルーム・トゥ・リードへの資金提供者

ルーム・トゥ・リードが識字教育イニシアチブに投資できる安定的な収益源である毎月の寄付が続けられることをうれしく思っています。毎月の寄付を行う人が増えれば、ルーム・トゥ・リードはより積極的にプログラムや関連支出を計画することができます。ルーム・トゥ・リードのウェブサイトですべての寄付のプランを設定するのに1分もかかりませんでした。今後何年間にもわたって継続的にルーム・トゥ・リードをサポートするに当たり、毎月寄付は私にとって非常に効率的な方法です。」

財務報告

世界中の皆様からの寛大なサポートがあって初めて、私達の事業は可能になります。皆様からのご厚意が事業を行う地域社会に最大の恩恵をもたらしていることをご理解いただくため、私達は財務効率や透明性を最大限に高めて運営することに全力を注いでいます。

財務ハイライト

現金による寄付

5,210万
米ドル

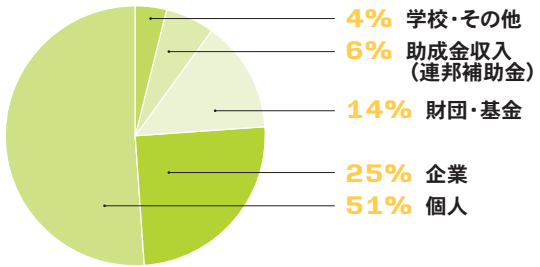
物資・サービスによる寄付

280万
米ドル

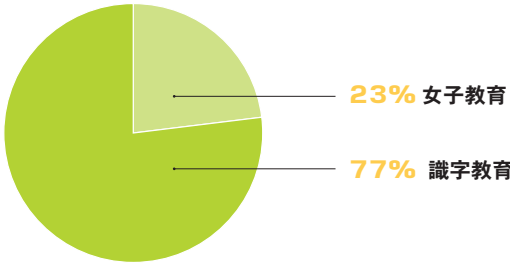
教育プログラムに使用した割合

85%

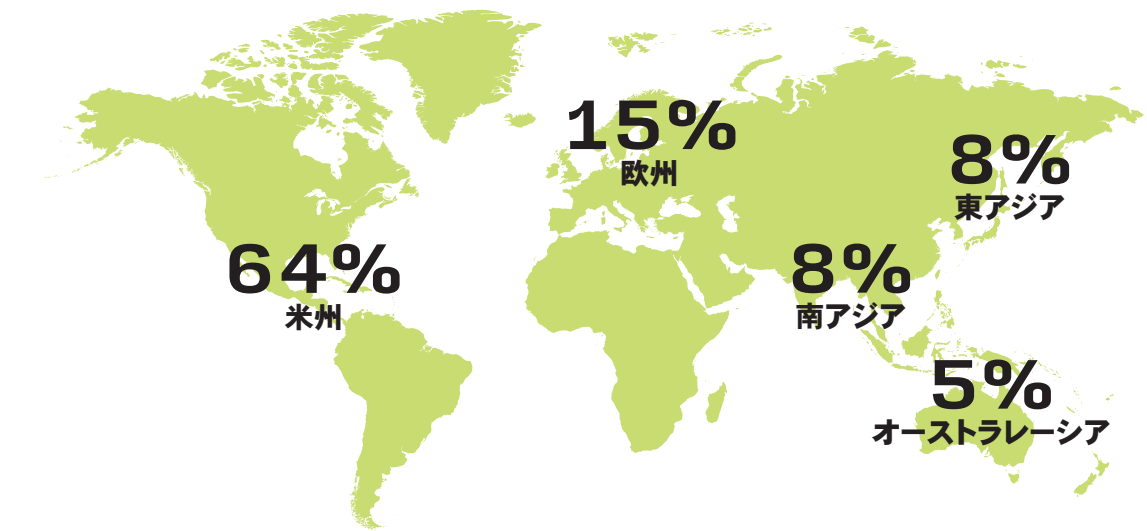
投資者タイプ別寄付内訳



プログラム別費用支出内訳



地域別収益源



活動報告書

2018年12月31日、2017年12月31日に終了した年度（米ドル）

支援および収益	2018年	2017年
企業	\$13,372,443	\$13,147,452
財団・基金	\$7,154,647	\$5,485,416
個人	\$26,463,290	\$27,231,726
学校・その他	\$2,089,709	\$2,100,169
寄付合計	\$49,080,089	\$47,964,763
助成金収入	\$3,021,963	\$1,291,498
物資・サービス寄付	\$2,759,734	\$5,621,152
投資およびその他の収益（損失）、特別イベント出費、諸費用	\$(513,170)	\$(852,581)
支援および収益合計	\$54,348,616	\$54,024,832

運営経費	2018年	2017年
プログラム運営		
識字教育	\$6,805,792	\$8,057,134
女子教育	\$1,954,295	\$2,241,720
技術支援	\$2,289,564	\$2,032,707
図書・物資寄贈	\$1,599,672	\$5,321,821
会議費、旅費、打ち合わせ費	\$1,719,913	\$1,451,137
情報技術費	\$1,129,002	\$1,299,191
モニタリング・評価	\$172,192	\$189,559
専門家報酬	\$1,506,436	\$1,404,835
プログラム経費	\$2,654,227	\$2,783,022
プログラム人件費	\$22,082,020	\$20,866,566
プログラム運営費合計	\$41,913,113	\$45,647,692
運営・管理費	\$2,096,688	\$2,230,405
資金調達活動	\$5,057,016	\$5,501,518
運営経費合計*	\$49,066,817	\$53,379,615

換算調整	\$(909,656)	\$216,081
------	-------------	-----------

非拘束純資産の変動	\$4,321,830	\$2,070,615
拘束純資産の変動	\$50,313	\$(1,209,317)
期首非拘束純資産	\$7,874,425	\$5,803,810
期首拘束純資産	\$10,565,800	\$11,775,117
期末純資産	\$22,812,368	\$18,440,225

*2018年の運営経費が減少したのは、物資・サービスによる寄付が減少した結果として、準備金への寄付金参入が増えたためです。ルーム・トゥ・リードの財務報告書は、認定を受けた独立公認会計士によって監査されており、ホームページ上でも入手可能です。

企業・団体スポンサー

世界中の低所得地域に住む子ども達の人生を向上させる私たちの取り組みが成功するには、企業・団体スポンサーの皆様からの支援が不可欠です。助成金、社員の参加、コースマーケティングのパートナーシップ、物資・サービスによる寄付のいずれを通してであれ、パートナーの皆様をサポートのおかげで、私達はその効果を拡大し、共通の目標を達成することができるのです。


アルタ・キャピタルは、ルーム・トゥ・リードのミッションに欠かせないプロジェクトの開発や強化を可能にしています。アルタ・キャピタルは現在までにコアサポートに515万米ドル投資し、ルーム・トゥ・リードが戦略目標に向かって前進し、私達の画期的なプログラムにこれまでも増して多くの子ども達が参加できるように支援してくださっています。


アトラシアン財団インターナショナルは、ルーム・トゥ・リードのプログラムに1,000万米ドル以上を寄付してくださっています。2018年には、カンボジアにおける私達的女子教育プログラムで最大の支援者だったほか、オーストラリア最大の企業スポンサーでもありました。職員の方々と「1日1ドル」の職場寄付プログラムを通し、私達を個人レベルで大いにサポートしてくださっています。


バンク・オブ・アメリカ-BAコンティナム・インディア (BACI)は2015年以来、169カ所の図書室設置を通し、インドにおけるルーム・トゥ・リードの識字教育への取り組みを支援してくださいました。また、インドの女子教育プログラムでも何千人もの少女を支援してくださっています。


ベルティン・ファミリー財団は、ラオスにおけるルーム・トゥ・リードの口頭言語ユニットの導入を支援してくださっています。私達はその投資のおかげで、生徒の母国語がラオ語ではない多くの地域で、低学年の生徒の読解力を向上させることができますようになります。


BNPパリバのグループ企業は2018年に、企業レベルの社会的責任助成金や職員の方々の関与を通し、インド全域でルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムを支援してくださいました。このパートナーシップは、4,700人の少女が中等学校を修了し、主なライフスキルを身につけるのを後押ししてきました。


バーガーキング・マクラモアSM財団は、欧州、中東、アフリカ、アジア太平洋の一部地域のバーガーキング®ブランドで働く職員、

フランチャイズ加盟店、レストラン顧客からの寄付、ならびに財団からの直接の寄付を通し、ルーム・トゥ・リードを支援してくださっています。


シティFX[®]はeフォー・エデュケーション・イニシアチブを通し、そのキャンペーン中のさまざまな電子プラットフォームで想定外国為替100万米ドルの取引が行われるごとに、教育に重点を置く非営利団体に1米ドル寄付してくださいました。ルーム・トゥ・リードとシティは2013年のキャンペーン開始以来のパートナーです。シティは2018年には86万9,000米ドル以上を寄付してくださり、ルーム・トゥ・リードへの寄付合計額は390万米ドルを超えたほか、7万9,000人以上の子ども達がその恩恵を受けています。


クレディ・スイスは2005年以来、私達にとって最大の企業スポンサーの1社であり、13万8,000人以上の子ども達を支援してくださっています。また、前回の戦略プランの策定やルーム・トゥ・リード・アクセラレータの立ち上げを含め、複数の戦略プロジェクトに資金を提供してくださいました。私達はクレディ・スイス女子金融教育プログラムの主要パートナーであり、クレディ・スイスのモデルをタンザニアとスリランカにおける女子教育プログラムに適用しています。クレディ・スイスはまた、私達のアジアのスタッフ向けにオフィススペースを無償提供してくださったほか、グローバル市民プログラムを通して能力開発を提供してくださっています。


ドバイケアはモハメド・ビン・ラシド・アル・マクトウムのグローバルイニシアチブの一環として、ヨルダンでのアラビア語の物語集60万部以上の制作と配布や、アジアおよびアフリカでの現地語書籍200万部以上の制作と配布に資金を提供してくださいました。また、ネパールの2015年の地震以降の学校再建や識字教育活動も支援してくださいました。2018年には、ルーム・トゥ・リードのゴールキーパー・クオリティ・エデュケーション・アクセラレータの主要パートナーとなり、私達がベトナムのすべての学校で図書室の介入活動を拡大するのにも後押ししてくださっています。


エキドナ・ギビングは2018年に、ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムと女子教育プログラムに投資してくださいました。イノベーション、分析、学習、システム変更の分野において私達の模範となるパートナーです。


ゴールドマン・サックスとゴールドマン・サックス・ギブズを通し、同社とその上級経営陣がルーム・トゥ・リードに、2,340万米ドルを上回る寄付をしてくださいました。2018年には、私達の識字教育プログラムと女子教育プログラムを支援してくださり、2万4,000人以上の子ども達がその恩恵を受けました。


グーグル財団は2017年に、新たなデジタルプラットフォームを通してバハサ・インドネシア語の児童書へのアクセスを増やす、効果的な読書活動に関する研修を教師に行うという2つの方法で、インドネシアの20万人以上の子ども達の低学年時の読書体験向上を促す、複数年にわたる助成金を約束してくださいました。この助成金は、グーグル財団の職員による年末の寄付とともに、世界中の子ども達にとって本当に必要な教育機会を作り出しています。


イケア財団は2016年以来、バングラデシュとインドネシアにおけるルーム・トゥ・リードの識字教育事業に多大なる投資を行ってくださっています。2018年には、インドにおける私達としては初めての女子教育に重点を置いた技術支援プロジェクトも含め、支援の幅を広げてくださいました。現在までに私達とのパートナーシップを通し、113万人の子ども達の教育機会の向上をサポートしてくださっています。


IMCは2016年以来、タンザニアにおけるルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムを大きく変えてくださっています。パートナーシップを通して私達に510万米ドルを上回る寄付をしてくださり、子ども達の人生、その地域社会や、将来世代を大きく変える、識字という強力なツールを子ども達に身につけさせる後押しをしてくださっています。


ミリヤード・アセット・マネジメントは2011年以来、ルーム・トゥ・リードの主要なパートナーとなっています。香港を拠点とする同社は、3万4,000人以上の子ども達が教育を通し、より明るい将来を追い求める支援をしてくださいました。


ストーン・ファミリー財団は2017年より、紛争後の社会における男女平等の強化ため、ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムに助成金を2年間投じてくださいました。このパートナーシップのおかげで、タンザニアの少女達の人生を大きく変え、また、そこで学んだことやベストプラクティスを他のプログラム実施国で共有することが可能となっています。


タッチャは“Beautiful Faces, Beautiful Futures”イニシアチブを通し、同社製品が1点購入されるごとに世界中の女子教育を支援してくださっています。2014年のルーム・トゥ・リードとのパートナーシップ開始以来、少女達の学校生活を延べ200万日以上支援してくださいました。

2018年の上位企業・団体スポンサー

500,000米ドル以上

アトラシアン財団インターナショナル
 BNPパリバ
 シティ
 クレディ・スイスAG
 ドバイケア
 エキドナ・ギビング
 ゴールドマン・サックス
 グーグル財団
 イケア財団
 IMC
 タッチャ
 USAID
 WFP

250,000～499,999米ドル

アルタ・キャピタル
 バンク・オブ・アメリカ-BAコンティナム・インディア
 ベルティン・ファミリー財団
 バーガーキング・マクラモアSM財団
 シーラス財団
 ミリヤード・アセット・マネジメント
 ストーン・ファミリー財団
 世界銀行


リザルト・イン・エデュケーション・フォー・オール・チルドレン (REACH)信託基金は、**世界銀行**とグローバル・ブック・アライアンスを通し、南アフリカでルーム・トゥ・リードが行っている、全国の図書供給チェーン強化事業を支援してくださっています。ルーム・トゥ・リードは、低学年の生徒向けに質が高く適切なアフリカ言語の物語集制作を推奨すると同時に、現地の出版社5社に対し、5つのアフリカ言語と英語で低学年向けの児童書を20冊制作するための研修も行っており、その結果として120冊の新刊書が出版されています。私達は公立学校や非政府組織を通し、少なくとも6万2,300部のこれらの図書を子ども達に配布する予定です。


ルーム・トゥ・リードは2018年に、ホンジュラス、インド、ラオス、ルワンダ、タンザニアにおいて**米国内閣開発庁 (USAID)**が資金提供する識字教育プロジェクトに取り組み、世界中の何百万人もの子ども達を支援しました。私達はこれらの投資のおかげで、事業にイノベーションを取り入れ、新たな地域に拡大することができるようになりました。

100,000～249,999米ドル

バジャージ・オート
 CMS
 エスティ ローダー・カンパニーズ・チャリタブル財団
 フォー・エイカー・トラスト
 グラクソ・スミスクライン
 メットライフ財団
 オラクル
 PIMCO財団
 センサト・インベスターズ
 スワロフスキー財団
 タウンゼント・プレス
 国連児童基金 (UNICEF)

50,000～99,999米ドル

AT&Tコミュニケーション・サービス・インドア
 バンクオブアメリカ・メリルリンチ
 ボーイング
 ダイニング・コンセプト
 ドッジ&コックス
 ドクター・オスビュッテル
 イーストマン・ケミカル
 エコパ・グループ
 フェイスブック
 グルーバー・ファミリー財団
 ハンス財団


世界食糧計画(WFP)とルーム・トゥ・リードは、米国農務省のマクガバン・ドール・フード・フォー・エデュケーション・アンド・チェイルド・ニュートリション・プログラムから資金提供を受け、バングラデシュのコックスバザールにおいて2018～2020年の3カ年技術支援プロジェクトを実施するパートナーとなっています。このプロジェクトでは、146カ所の学校に通う4万5,012人の子ども達を支援し、722人の教師にベンガル語の識字教育や図書室運営の指導を行い、146人の主任教師と20人の現地政府職員に学校運営に関する研修を行い、新刊書10冊を出版して50万部を877カ所の図書室に配布します。

ヒルトン
 ホグラント財団
 HSBC
 H T バレク財団
 ケンデダ財団
 マシューズ・アジア
 マネーグラム財団
 モノタイプ・イメージング
 ローズウッド・ホテル・グループ
 スプーリノ財団
 STUDY FOR TWO
 東京海上日動火災
 ヴィトル財団
 ホワイトヘイブン・コール

物資・サービス寄贈団体

ブックス・フォー・アフリカ
 シスコシステムズ
 クレディ・スイスAG
 GSセールス
 ガンドロップ・ブックス
 ヒルトン
 ケッチャム
 モエ ヘネシー ディアジオ
 スコラスティック
 スワイヤ・ホテルズ
 リライアンス・キャピタル
 ローズウッド・ホテル・グループ
 タブロー

2018年にルーム・トゥ・リードにオフィススペースを提供してくださった次の企業・団体スポンサーの皆様にご感謝申し上げます。クレディ・スイス（香港および東京）、フィナンシャル・タイムズ（ロンドン）、リライアンス・キャピタル（ムンバイ）

理事会およびリーダーシップ

2019年8月現在

理事

ジョン・リディング（理事長）、フィナンシャル・タイムズ・グループ CEO

ユスフ・アリゼラ、ARPグローバル・キャピタル CEO兼共同CIO

アンドリュー・ボールズ、PIMCO グローバル・フィクスト・インカム最高投資責任者

メアリー・バイロン、ゴールドマン・サックス 元パートナー

マイク・キャノン＝ブルックス、アトランサン 共同創設者兼共同CEO

サビーネ・チャーマーズ、BTグループ 法務顧問

ルイ・クラウチ博士、RTI シニア・エコノミスト

カール・ハッテンロッチャー、ミリヤード・アセット・マネジメント マネージング・パートナー 兼最高投資責任者

スコット・キャブニック、HPSインベストメント・パートナーズ CEO

エリザベス M. キング博士、ブルッキングス 研究所 ノンレジデント・シニア・フェロー

ジョン・リンドフォー、DSTインベストメント・マネジメント マネージング・パートナー

ギーター・ムラリ博士、ルーム・トゥ・リード CEO

スタシア・オブレムスキー、リア・ベンチャーズ 避妊技術開発ストラテジー・ディレクター

フランク・ヴァン・ヴィーネンダール、セールスフォース 元取締役副社長

スーザン・ウォジスキ、YouTube CEO

ジョン・ウッド、ルーム・トゥ・リード 創設者

名誉理事

ヒラリー・バレンタイン（理事長）、ブラック＆ホワイト・デザイン パートナー

クリストファー S. ピア、アイアンマーク・ロー・グループ 創設メンバー

クレイグ・ブルイェ、マイクロソフト・ビジネス・ソリューションズ 元CFO

エリン・ガンジュ、ルーム・トゥ・リード 共同創設者および元CFO、エキドナ・ギビング マネージング・ディレクター

ピーター T. グラアー、ブルームバーグ 会長

ティム・クーグル、Yahoo! 元会長兼CEO

アラスデア・マクタガート、エメラルド・ファンド 社長

ジェリー・デル・ミシアー、コッパ－・ストリート・キャピタル 創設者および取締役会長

キム・アンスタット・モートン、ガール・ライジング 諮問委員

フェルナンド・ライマーズ博士、ハーバード 大学 グローバル教育および国際教育政策 ディレクター

ムニール・サッター、サッター・インベストメント・マネジメント 会長

リージョナル・ボード

ASEAN

ヘルマン・シトハン（理事長）

マーク・ベディンハム

イザベル&アントワヌ・デシート

ファルガン&ニコラス・ナッシュ

リア・シトハン

リン&マイケル・テイラー

ジャスティン・デオ

コウ・トゥ・ゾー&アントニー・ング

デビット&キャサリン・ゼマンス

アジア太平洋

タミコ M. リビット（理事長）

レベッカ&ダミエン・ブロスナン

ローラ・ハワード&ディーター・トゥロウスキ

カール・ハッテンロッチャー

カミラ&ジョン・リンドフォース

ヴアレリア&クリス・マンチーニ

キンバリー・スタッフォード&ライアン・コリンケ

オーストラリア

デビッド・トリブル（理事長）

リタ・アザール&バッサム・アフラック

アンナ・バイリー＝カラス&ジェイソン・カラス

アニー&マイク・キャノン＝ブルックス

ザウラ&ブレット・ゴッドフリー

アリソン&チャールズ・ゴーマン

ドナ・イップ

カリフォルニア

スーザン・ブレイヤー

エリン&ジテンドラ・ガンジュ

クリスタ&マシュー・グロツパチ

エンジェル・メータ

キム・アンスタット・モートン

スタシア・オブレムスキー

ミシリ・サンカラン&シェカー・アヤー

ヒラリー・バレンタイン

レスリー&フランク・ヴァン・ヴィーネンダール

スーザン・ウォジスキ

インド

ガウラヴ・デルミア（理事長）

ミッキー・ドシ

コーゼム・マーチャント

ナンディニ・ピラマル

スマティ&ラヴィ C. ラヘジャ

ジツ・ヴィアワニ

日本

エリック・ゴールデン（共同理事長）

正直知哉（共同理事長）

アサミ&ベン・ファーガソン

アヤコ・ゴールデン

正直ゆり

スーザン&デオ・セルツァー

フレッド・トウファイ

ニューヨーク

スコット・カブニック（理事長）

サマンサ・バリ

メアリー・バイロン

リチャード&サビーネ・チャーマーズ

サラ・アイゼン&マシュー・レヴィーン

キャリン・フレイバージャー

ビーター T. グラアー

ソニー・カルシ

ジャイディーブ・カーナ

アート・ムバネフォ

マーク・セイドナー

スイス

ユルゲン・パウアー（理事長）

バトリシア・ホーガン

イクバル・カーン

サラ&エイディン・カート＝エリ

ローラ&ロバート・シュモール

マリア・ヴィジル&マルコ・バグリアラ

ティナ・ウストマン

英国

ジェリー・デル・ミシアー（理事長）

リチャード&サビーネ・チャーマーズ

ラクウェル&クレイグ・ダウソン

マリサ・ドリュー

マリア&エリオ・レオニ＝セティ

アート・ムバネフォ

ジェーン・デル・ミシアー

ビョーン・ニルソン

ジョン・リディング

エリカ・ワックス&アンドリュー・ボールズ

ランディ・ワーク

リーダーシップ・チーム

マネジメント・チーム

ギーター・ムラリ博士、CEO

サリ・フリードマン、最高財務責任者

ローリー・マクマホン、最高開発責任者兼コミュニケーション責任者

ニコール・サイレス、最高運営責任者

ヘザー・シンブソン、最高プログラム責任者

インターナショナル・ディレクター

クリスティ・スコット、プログラム運営 バイス・プレジデント

ディネシュ・シュレスタ、共同創設者およびフィールド・オペレーション ディレクター

ディーバク・ドグラ、アジア・プログラム運営 ディレクター

ポール・キラムブヤ、アフリカ・プログラム運営 ディレクター

ラクヒ・シャーカー、バングラデシュ カントリー・ディレクター

ヴァンサ・チェア、カンボジア カントリー・ディレクター

スーラヴ・バナジー、インド カントリー・ディレクター

ノーカム・スーパノヴァング、ラオス カントリー・ディレクター

ブシュカル・シュレストラ、ネパール カントリー・ディレクター

ヴァネッサ・フランシス、南アフリカ カントリー・ディレクター

シェヴァンティ・ジャヤスリヤ、スリランカ カントリー・ディレクター

ビーター・ムワカワレ、タンザニア カントリー・ディレクター

ヌオン・グエン、ベトナム カントリー・ディレクター





一緒に取り組みましょう

皆様の支援で何百万人もの子ども達に質の高い教育を届けることができます。

教育への投資

ルーム・トゥ・リードに寄付することにより、私達が教育を通して世界中の何百万人もの子ども達の人生を大きく変えるのを後押ししていただけます。

私達のチャプターネットワークへの参加

ルーム・トゥ・リードには世界35都市に1万1,000人以上のボランティアチャプターのメンバーがいます。私達のチャプターネットワークは、資金集め、イベント開催、私達の理念の啓蒙の成功の一助となっています。最寄りの都市のチャプターについては、私達のホームページをご覧ください。

実際の活動を見学

私達がパートナーとなっている地域の1つを訪問して、私達のユニークなプロジェクトを実際にご覧ください。現地のチームに会ったり、プログラムに参加している子ども達や、その両親、教師と交流する機会を持っていただけます。長年にわたるサポーターの皆様であれ、私達の事業について情報を集め始めたばかりの皆様であれ、この特別な人生初の現地体験によって世界におけるご自分の立ち位置に対する見方が変わることでしょう。

オンラインでのフォロー

ルーム・トゥ・リードのグローバルコミュニティに参加しませんか？私達がこれまでどのように非識字や男女格差の問題を過去のものにしてきたか、オンラインでご覧ください。

- 📘 フェイスブック: /RoomtoRead.Japan
- 📷 インスタグラム: @RoomtoRead_JP
- 🐦 ツイッター: @RoomtoRead_JP
- 📺 YouTube: /RoomtoReadJapan
- 🌐 LinkedIn: /company/Room-to-Read

参加はこちらから:
roomtoread.org/take-action

デザイン: メラニードハーティ・デザイン **写真:** 表紙内側: エムダッドル・イスラム、1&2: ファルケ・アゼム、4: チェスター・マカナ、5: タイン・トゥン・グエン&クーアン・タイ、9: ウィリアム・デ・ランジェ、10&11: ティエン・チャン、15: ジュリアス・マヘラ、16: アン・ホルムズ、17: シリルナ・シレスタ、18: ソナム・スヤングデン (挿し絵)、ウメシ・ラジンドラ (下)、19: USAID ソマ・ウメンイエ、23: ソチエアタ・ボース、24: ンガン・ブイ、25: エムダッドル・イスラム (上)、ジュリアス・マヘラ (下)、26: ヴァレン・チャウドフリ、27: ヴォウチシム・スリン (上)、ダニエル・ヘイダク (下)、31: サンジョグ・マナンドハー、32: (左上から時計回りに) ティム・アンダーソン、イヒティ・ファヒム、アダム・ホーリヤー・フォトグラフィー、ケリー・サリバン/ゲッティ・イメージ・フォー・ルーム・トゥ・リード、ゲーツ・アーカイブ、33: アダム・ホーリヤー・フォトグラフィー、34: ニューヨーク証券取引所、ダオ・マイ・ビン、35: ANI/PMO (上)、パリサ・クアムフィバ (左下)、41: シャミ・ジャヤワデネ、裏表紙内側: ジュリアス・マヘラ